

ジュニア部門(小・中学生)

令和七年度 県民総合文化祭川柳大会

宿 題 「さっぱり」松山市 宮内 裕子 選

「べ ン」西条市 本田 醇子 選

「まよう」鬼北町 宇都宮 孝 選

応募方法 投句用紙に住所・氏名・学校名等を記入し、規定の用紙(コピー可、縮小・拡大

は不可)に各題二句を明記して郵送してください。投句料は無料です。

投句先 千七九九二四一五 松山市猿川甲一〇一七 池谷三和子 方

(問い合わせ先) 県民総合文化祭川柳大会 ジュニア係 宛 TEL〇九〇・八六九八・七二〇一

投句締め切り 令和七年九月二十五日(木) 当日消印有効

成績発表 令和七年度県民総合文化祭川柳大会 令和七年十一月九日(日)

各題優秀三句への入賞者には賞状とメダルを予定しています。

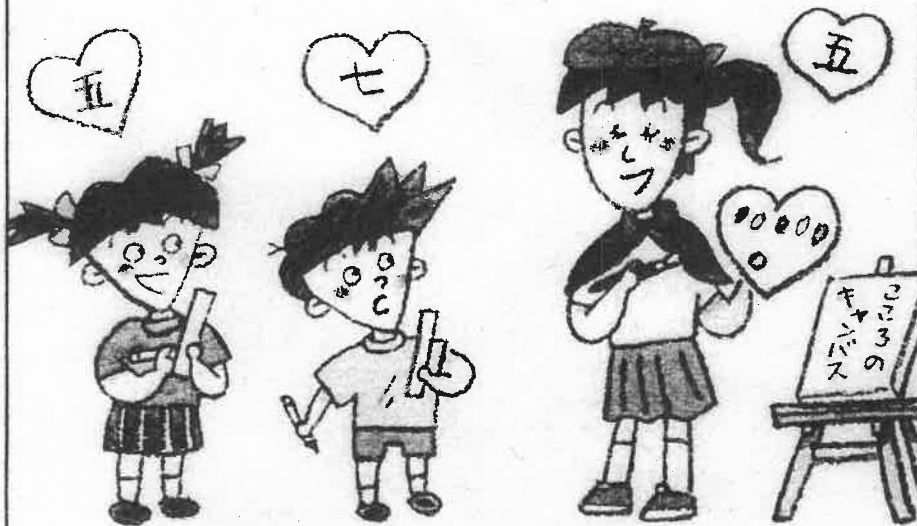
主 催 愛媛県・愛媛県川柳文化連盟

県柳連事務局 松山市清住町二丁目一六二二二 大前尚道 方

TEL〇八九・九五二・六七七四

川柳の書き方・川柳の作り方

川柳は五・七・五のリズムで人間をうたう詩です。ふだん私たちがしゃべったり書いたりしている言葉で、思ったこと、感じたことを自由に表現する詩です。川柳では、ひとりひとりの暮らしやいのちの喜び、楽しみ、悲しみ、怒りを詠(よ)むことができます。五・七・五さえ守ればあとは原則として自由ですから、俳句のような「切れ字」(何何や、何何かな)、「季語」(季節の言葉。月は秋を指す)、「文語表現(旧かな使用など)」にとらわれることもありません。面白いたえを用いたり、表面的なことを言いあらわすだけでなく、その奥にあるもの(真実)を表現することにより、読む人にユーモアや風刺を感じさせます。川柳は、弱者(じゃくしゃ)の弱みをからかったり、言葉の表現だけの語呂(ごろ)合わせや駄洒落(だじゃれ)で人を笑わせるものではありません。ユーモアは、川柳の特徴の一つですが、それは上品なおかしみや温かみの感じられるところに本当の値打ちがあります。



全日本川柳協会「ジュニア編」より引用

